



## 人を育てる山であり続ける

校長 吉丸 清昭

お子様の入学・進級おめでとうございます。本校は、「心はひと〜つ！」で本年度も進んでまいります。本校がお互いの個性を尊重し合い、支え合おうとする「人」を育てる「山」であり続けるために、地域・保護者の皆様、どうぞ令和6年度も本校教育活動への変わらぬご理解・ご協力、ご支援を引き続き宜しくお願い申し上げます。さて、年度当初に当たり、こんな話を…。

法隆寺最後の棟梁と言われた宮大工、西岡常一氏の口伝に『木を買わず、山を買え』『寸法で組まずに木の癖で組め』という言葉があります。内弟子の小川三夫氏は、その意味を「木はその育った環境から見ないといけない。この木が生えていた山の土質によって材質が変わる。生えていた場所の環境によって癖が生まれる。強い風にさらされていれば、それに耐えようとして癖が生まれる。そういったことまで見て、木を使いなさい。」と語っています。

木は動くことができませんから、日当たりのよい側は枝葉がよく茂り、幹が少し膨らんでいきます。木が斜面に立っている時には、その内部にさまざまな力が働きます。光を求めて真っすぐに上へ伸びようとするために幹は曲がり、風や雪に捻られ続けると本来の位置に戻ろうとして「あて」という特殊な組織をその内部に作ります。年輪の中で一部が太く濃い色になっているところが「あて」（陽疾）です。反りや狂いが生じやすく強度に劣るため木材の欠点として扱われます。しかし、それが木目に独特の味わいを添えることもあるそうです。

子ども達は毎日元気に走り回っていますが、大人に守られなければ生きていけないという意味では、動けない木と同じかもしれません。なかなか言うことをきかなかったり何度注意しても同じ失敗を繰り返したり、時に素直でなかったり…。子どものもつ癖に悩まされることは少なくありません。けれども、それはその子が育ってきた「あて」なのかもしれません。

「本来の山は檜、杉、落葉樹…；いろいろな木が生え競争し切磋琢磨して育っていく。それを管理しやすいように1種類の木しか植えないようになった。それが、いい木がなくなった原因かもしれませんね。まっすぐな良材質だけど、木の癖を活かしながら建てる古代の日本の建築向きではない。昔の優秀な大工というのは、山にある木をすべて使って家を建てられる大工だといった。今はまっすぐな木ばかり出して、曲がった木は山に残しますね。」

学校にはさまざまな個性をもつ子ども達が集まっています。それだけに子ども同士のトラブルもあります。しかし、それぞれが刺激し合い高め合う場であることも確かなことです。素直ない子、良質材だけを育てようとするのは大人の勝手な都合かもしれません。子ども達には、無理に捻られるようなことなく伸び伸びと育てて欲しいと願っています。その上で、それぞれの特性を活かして力を合わせて前へ進んでほしいと思っております。

# 4月の行事予定

日	曜	行 事	補 習	日	曜	行 事	補 習
1	月			16	火	4時間 給食始（1年） 視力検査（6年） 内科検診（3年，4年）	
2	火	桐っ子くらすぶの予定 は、放課後子ども教室担 当会社よりお渡ししま す。		17	水	B時程4時間 視力検査（5年）	
3	水			18	木	4時間（1年） 全国学力調査（6年） 内科検診（1年，2年）	
4	木			19	金	4時間（1年） 視力検査（3年）	
5	金	春季休業日終 新6年生前日登校日		20	土		
6	土			21	日		
7	日			22	月	4時間 全校朝礼 児童質問調査（6年） 視力検査（4年）	
8	月	3時間 給食なし 登校指導始 始業式・入学式		23	火	クラブ	
9	火	3時間（1年） 給食始 発育測定（2～5年）		24	水	あだちからの日 4時間 避難訓練	
10	水	4時間 安全指導・安全点検 発育測定（1年，6年，青桐）		25	木	視力検査（1年） 委員会紹介集会	
11	木	4時間 牛乳給食（1年） 内科検診（5年，6年，青桐）		26	金	1年生を迎える会 視力検査（青桐）	
12	金	4時間 牛乳給食（1年） 登校指導終 区学力調査 国語・算数（2～6年）		27	土		
13	土			28	日		
14	日			29	月	昭和の日	
15	月	4時間 簡易給食（1年） 全校朝礼 視力検査（3年） 委員会		30	火	全校朝礼 4時間 保護者会	

※1年生は、下校時間の異なる日があります。詳しくは4月の学年だよりをご覧ください。

※今月の補習はありません。